

広聴会で参加者から出された ご意見等

- ・定年も年金支給開始も延び、社会変化が大きい。町内会加入率が低下し、役員のみ手がない。理由は行政から町内会への依頼業務の多さで、一例がゴミ当番。依頼業務を見直すべき。
- ・町内会とまち協で同じような行事が多く、行事の見直しも必要でないか。
- ・町内会は、組織や役割の見直し時期。
- ・広聴会は過去の反省を活かし、積極的にPRすべき。(まち協や町内会長等への参加要望。まち協顧問である議員を通じた参加要請等、まち協を活用してほしい。)
- ・町内会長や役員の業務負担軽減を行政に働きかけてほしい。解消されないと後継者選定は困難。
- ・まち協設立時、公民館とまち協の業務が重なっていた。まち協と公民館を統合したが、行事が多く困っている。まち協の負担軽減を。
- ・後継者確保が喫緊の課題。人件費を払えるようにすることも一案。
- ・町内会長になると、まち協や神社役員もやることになる。
- ・町内会が種々行事の下請機関のようで、まち協の立ち位置が疑問。役割や機能を整備し、相乗効果が出るように。
- ・町内会、まち協、議員の情報発信がほとんどないのでは。ICT時代であり、工夫が必要。
- ・若い人に、町内会加入のメリットが感じられていない。加入メリットが見つけれられるように。
- ・他自治体の分析結果を公開せず資料1枚もないやり方では、広聴会は成功しない。
- ・町内会加入メリットとして、会員になると市内での商品購入割引があるなどのメリットを。
- ・町内会の安否確認シートから、未加入世帯は漏れてしまう。これを加入促進に繋げてほしい。
- ・呉竹町は、加入促進のポスティングを始めた。
- ・転入者情報は、行政が一番早い。行政の加入依頼が薄いので、積極的に目標設定して協力を。
- ・少子高齢化もあり、町内会を大きくせず、各団体をまとめて行政へ繋げていくのが当初目指したまち協の形では。
- ・町内会への過度な期待はどうか。役員のことを考えれば加入者増を依頼するのは無理で、そのあり方、役割を再考すべきでは。
- ・まち協は、個人参加でなく小さい団体が集まった組織でいい。そうした団体を上手くリードしていくのが役割では。

■アンケート記載から

◎今後のテーマ、ほか

- ・町内会とまち協(のテーマ)を何度も続けて。
- ・議会への関心の喚起(特に若い人)。
- ・議会、議員活動を市民に知らせる取り組み。
- ・学校等、公共施設などのあり方の進捗。
- ・議会として市民に重要な報告。
- ・現役年代が市政に参加できること。
- ・会場は、各地域に出向くべきでは。

◎議会に対して

- ・情報発信が足りない。
- ・議会ごとの情報発信の即時化努力が必要。
- ・各まち協での気軽な意見交換会の開催。
- ・今回の開催に当たって、資料がほしかった。
- ・まち協、地区単位の集会を計画しては。
- ・身近なテーマで意見交流をしては。
- ・今回のテーマ設定、方法の改善を。
- ・議員の発言が少ないが、準備不足では。
- ・広聴会は、市民の議会に対する親密度のバロメーターだと思う。
- ・広聴会への参加増には、議員個人の努力を。
- ・広聴会への招待状を作成する等の努力を。
- ・現在、議員の欠員は2名だが、定数が16名のままでいいのか。

◎その他

広聴会るときではありませんが、長文の意見をいただきました。これも合わせて、参考にしていきたいと思います。

■参加された皆さん

□区分

在 住	14人
合 計	14人

□年齢

60代	4人
70代	10人
合 計	14人

□お住まいの住所

青木町	1人
呉竹町	1人
沢渡町	2人
神明町	1人
八幡町	2人
二池町	1人
湯山町	2人
芳川町	1人
未記入	3人
合 計	14人

□男女の別

男 性	12人
女 性	1人
未記入	1人
合 計	14人

□広聴会をどこで知ったか(複数回答可)

広報(回覧)	11人
議員から	6人
知り合いから	1人
ポスター・チラシ	3人
合 計	21人

□内容はどうだったか(複数回答有り)

有意義だった	2人
まあまあ有意義だった	5人
あまり有意義ではなかった	4人
有意義ではなかった	2人
その他	1人
未記入	1人
合 計	15人